



よくわかる ことしの ま 中標津づくり 令和3年度主要施策概要（予算説明書）

ごあいさつ

町民の皆様には、日頃から町政運営に対して深いご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

このたび、今年度を実施する町の事業を皆さんにわかりやすくお知らせし、町政に対して更に理解をいただくために、主要施策概要『よくわかることしの中標津づくり』を作成しました。

本年4月にスタート予定でありました「第7期中標津町総合計画」は、コロナ禍により策定作業に大幅な遅れが生じていることから、現行の「第6期総合発展計画」の後期基本計画により、歳入歳出のバランスを図ることを念頭に、緊急度や優先度等を充分検討した予算内容としております。

現在、第7期の総合計画の策定作業を進めておりますが、現行計画の検証結果を踏まえた上で、自治基本条例に則り、町民、議会及び行政が一体となって令和3年度中の策定を目指してまいります。子どもたちが夢を持てるような未来のある中標津町にするため、今まで作り上げた本町の持つ利便性、住みやすさをさらに追及し、コンパクトながらインパクトとパワーのある「住みやすさNo.1のまち」を目指して町民の皆さんとともに協働でまちづくりを進めていく所存でございます。

本書が皆さんのまちづくりの議論や活動の素材として、ご活用いただけることを願っております。

令和3年4月



中標津町長 西 村 穰



中標津町の予算の全体像

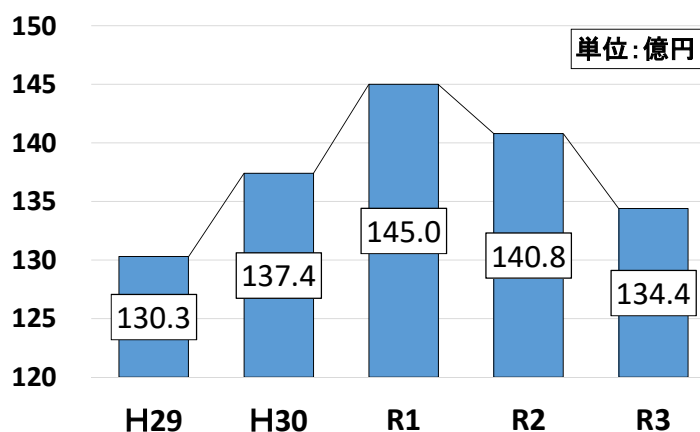
◇ 令和3年度予算について

借入金の増加や町の貯金の減少により、これまでの行財政運営を維持していくことが困難な状況であることから、人口減少を見据えた事業の見直しや徹底した歳出の削減及び歳入確保の取り組みを念頭に、事業の優先度や効果を充分検討し、住みやすさNo.1を目指した予算となりました。

<予算額>

会 計 区 分		令和3年度予算額	令和2年度予算額	伸 率
一 般 会 計 (A)		134億4,300万円	140億8,000万円	△4.5%
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	27億8,324万円	27億5,682万円	1.0%
	後期高齢者医療特別会計	2億9,252万円	2億8,438万円	2.9%
	介護保険事業特別会計	16億2,202万円	15億6,340万円	3.7%
	町営牧場特別会計	6,173万円	6,375万円	△3.2%
	下水道事業特別会計	11億6,054万円	11億5,179万円	0.8%
	簡易水道事業特別会計	6億4,461万円	5億6,413万円	14.3%
	小 計 (B)	65億6,465万円	63億8,427万円	2.8%
企 業	病院事業会計 (C)	46億899万円	48億2,382万円	△4.5%
会 計	水道事業会計 (D)	9億5,341万円	9億7,591万円	△2.3%
予算総額 (A + B + C + D)		255億7,005万円	262億6,400万円	△2.6%

※数値については円単位のを四捨五入し、万円単位で表記しておりますので、合計の額や%の数字が一致しない場合があります。



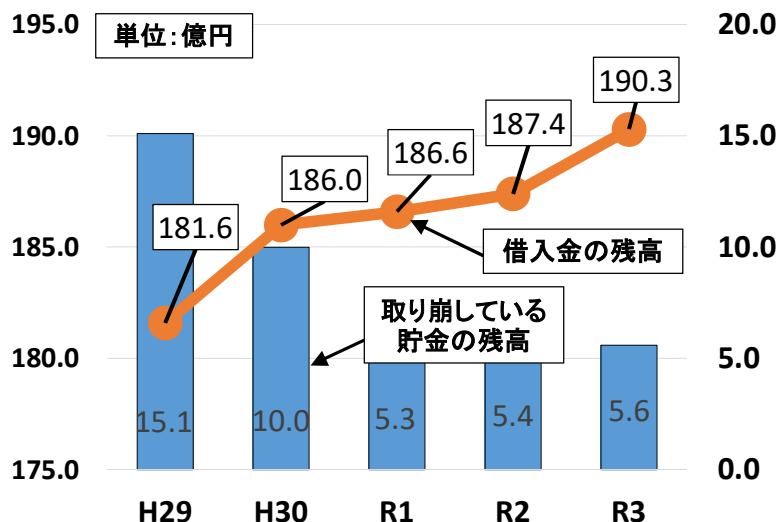
◇ これまでの予算の推移について

総合文化会館設備改修や農業高校体育館整備などの事業実施や多種多様な行政課題への対応により支出が高水準になってしまい、収入が不足することから借入金や貯金の取り崩しで対応しておりましたが、真に必要となる事業を取捨選択し、より効率的で効果的な行財政運営となるよう検討を進めた結果、令和3年度予算については貯金の取り崩しを行うことなく編成することができました。

◇ 借入金や貯金の状況について

平成29年度には約15億円あった貯金（財政調整基金・減債基金）も令和3年度末の見込みでは約5億円まで減少している一方、借入金は増加を続けており、貯金と借入金のバランスが非常に悪い状況が続いています。

今後については借入の抑制や安定した貯金の積立てを行い、大規模災害などの不測の事態に迅速に対応できるよう柔軟な行財政運営を進めていきます。



ことしの事業概要について

※今年度に取り組む全256事業のうち、主な事業を抜粋してお知らせします。

基本目標1 ～参画と協働で未来を築くまちづくり～

新規事業・拡充する事業

新

関係人口創出事業
(経済振興課)

311万円
町236万円

上段:事業費

下段:町負担額

テレワーク実施による効果、課題を把握するため、中標津町でテレワークを行う企業に対し、移動費等の支援を行います。また、移住を検討されている方への「お試し暮らし」に取り組むほか、東京圏からUIJターン移住後に就労した場合に補助金を交付し、関係人口・交流人口拡大と地域経済活性化を図ります。



新

労務管理システム導入事業
(総務課)

1,797万円
町1,797万円

職員の出勤や休暇等の労務管理及び人事評価のシステム化により、働き方の意識改革や業務改善を推進するほか、電子決裁による業務効率を図ります。

主な継続事業

第7期総合計画等策定経費
(企画課)

262万円
町262万円

令和3年度からの新たなまちづくりの指針である第7期総合計画は、新型コロナウイルス感染症の影響により、策定作業に大幅な遅れが生じているため、令和3年度中の策定に向けた作業を進めます。
あわせて、人口減少対策に特化した中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略についても、第2期戦略の策定に向けた作業を進めます。

北海道日本ハムファイターズ
パートナー協定推進事業
(企画課)

100万円
町50万円

町と北海道日本ハムファイターズが平成30年11月に締結したパートナー協定に基づき、スポーツ、観光、食・健康の3分野において連携協力し、イベントなどを開催します。(協定期間:平成31年1月1日～令和3年12月31日)

協働のまちづくり推進事業
(企画課)

30万円
町30万円

「まちづくりの主役は町民である」という事を基本として、町民と行政が共に考え行動し互いの理解を深め、「協働で進めるまちづくり」の実現に取り組めます。また、民間団体と連携した若者の出会いの場創出事業への支援を行います。

自治基本条例推進事業
(企画課)

28万円
町28万円

自治推進会議を開催し、自治基本条例の運用状況等を検証します。

地域間交流促進事業
(経済振興課)

93万円
町93万円

東京・札幌中標津会の活動支援や川崎市との連携等の地域間交流活動の推進を図ります。

大学交流推進事業
(企画課)

50万円
町0万円

町外に住む大学生などを積極的に町に招き、町民との交流活動等を通じて、次世代を担う地域の人材育成や交流人口・関係人口の増加を図ります。

日本語学校開校・
共生社会推進事業
(経済振興課)

635万円
町585万円

日本語学校開校に伴い、外国人留学生や町内在住技能実習生と町民の交流、多文化共生の推進など、外国人との共生に向けた取り組みを行い、相互理解を深めると共に地域の魅力を世界に発信します。

北方領土対策のための経費
(企画課)

1,547万円
町86万円

外務省の北方四島住民支援事業による北方領土在住ロシア人患者の受け入れ、ビザなし交流、領土問題の啓発・返還運動の推進に取り組めます。また、返還啓発看板の修繕を行います。

町有建物解体整備のための経費(建設管理課・教委管理課)

4,435万円
町3,873万円

町内の老朽化した施設を計画的に解体します。
(教職員住宅、計根別旧雪印寮・住宅解体工事、旧開陽温泉井戸止水工事)

〈根室管内市町連携協定事業〉

平成29年1月に根室管内1市4町で締結した「根室管内市町連携に関する協定」に基づき以下の5事業を連携して実施し、効率的な行政サービスの提供に努めます。

- 新規就業・就農PR
- インカレねむろ推進
- 教育旅行誘致推進
- 移住促進
- 広域連携観光PR

◆「参画と協働で未来を築くまちづくり」に係る補助・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
フロンティア事業推進補助金	経済振興課	50	地域活動のリーダー育成や住民参加のまちづくり推進等の取り組みを一部補助
地方創生移住就労支援事業補助金	経済振興課	100	東京圏からUIターン移住後に就労した方等への補助

基本目標2 ～健やかでやさしいまちづくり～

新規事業・拡充する事業

新 **医療的ケア児支援事業**
(福祉課・町立保育園)

731万円
町216万円

日常的に経管栄養・喀痰吸引・在宅酸素・導尿等、医療的ケアが必要とされる障がい児について、日中活動の場及び、保護者のレスパイト(休息)を支援するため、各関係機関と調整を図り、日中一時支援事業において、受入れできる環境の整備を行います。

また、令和4年度から町立保育園での医療的ケア児の受入れに向けても、総合的かつ包括的な体制整備を進めます。

新 **ドクターヘリ離着陸場改修事業**
(保健センター)

2,050万円
町1,025万円

整備後10年が経過し、芝生の損傷が激しく、使用を中止しているドクターヘリ離着陸場の改修工事を行います。
◇アスファルト舗装1,570㎡ 張芝46㎡



主な継続事業

子どものための教育・保育経費
(子育て支援室)

4億5,059万円
町1億2,202万円

認定こども園及び泉保育園の運営費・人件費などに対する経費です。また、幼児教育無償化に伴う認可外保育施設等利用保護者への施設等利用料分の給付を行っています。

子ども・子育て支援事業
(子育て支援室)

1,756万円
町587万円

子どもの年齢や親の就労状況などに応じた子育て世帯への支援を実施します。(幼稚園型一時預かり事業、一般型一時預かり・ファミリー・サポート・センター事業、病児保育事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業)

子育て世帯のための扶助
(子育て支援室)

3億8,090万円
町7,278万円

児童手当扶助や各種医療扶助などを実施し、子育て世帯にかかる経済的負担を軽減します。(児童手当扶助、ひとり親家庭等医療扶助、乳幼児医療扶助、未熟児養育医療扶助)

〈子育て世代包括支援センター事業〉

妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療等との連絡調整を行います。母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持並びに増進に関し、切れ目のない支援を提供する体制を構築します。

児童館運営管理経費 (子育て支援室) 	6,214万円 町1,021万円 中標津町児童センター「みらいる」やその他の3児童館において、放課後児童クラブ開設や、子育て相談や子育てサークルへの支援、チャイルドアドバイザーや菜園等地域と連携した事業を実施するほか、計根別地区では児童館と一時預かり保育機能を集約した子育て支援拠点施設「えみふる」を運営します。
高齢者の自立への支援 (福祉課)	1,493万円 町1,166万円 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の基本理念「高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくり」の実現のために各種支援を行います。また、65歳以上で環境、経済的な理由で自立生活が困難な方を養護老人ホームに入所措置を行い養護します。
介護保険事業特別会計 (介護保険課) 	16億2,202万円 保険料改定(保険料基準額4,700円→4,900円) ◇保険事業: ・第1号被保険者数:6,222名 要介護認定者数:1,008名(要支援266名、要介護742名) ・介護予防・日常生活支援総合事業(いきいき百歳体操、通所型サービス) ・包括的支援事業(認知症初期集中支援事業) 他 ◇サービス事業:介護予防支援事業所事業運営費
介護人材確保育成支援事業 (介護保険課)	431万円 町192万円 町内の介護人材不足解消のため、介護福祉士実務者研修を開催するとともに、在宅介護のヘルパー増員のために必要となる介護職員初任者研修講座を開催します。
成年後見事業 (介護保険課・福祉課)	746万円 町185万円 認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行います。
障がい者地域生活支援事業 (福祉課) 	2,043万円 町823万円 だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる地域社会の実現を目指すため、障がい者、障がい児が自立した日常生活を営むことができるよう、適切な支援を受けられる環境の整備を行います。 ◇訪問入浴サービス、在宅福祉移送サービス、日中一時支援、コミュニケーション支援、障がい者移動支援、地域活動支援センター事業、障がい者日常生活用具給付
障がい者世帯のための扶助 (福祉課)	6億8,814万円 町1億7,639万円 障害者総合支援法に基づき障がい者の自立支援などを行う自立支援給付や、重度の障がいを持つ方の医療費の一部を助成します。
健康増進のための経費 (保健センター・生涯学習課) 	89万円 町89万円 町民が健康な生活を送ることができるよう生活習慣病予防、感染症予防等の啓発を図るとともに、運動教室等を総合体育館と連携して実施するほか、「なかなか健康なかしべつポイント」事業を実施します。
各種健康診査・相談等事業 (保健センター)	3,468万円 町3,152万円 ◇健康診査・検診～妊婦健康診査・産婦健康診査、乳幼児健康診査や歯科健康診査、新生児聴覚検査、産後ケア事業(宿泊型、デイサービス型、母乳相談)、がん検診(胃・肺・大腸・子宮頸・乳)、医療保険未加入者の健康診査、肝炎ウイルス検査 ◇相談、家庭訪問～各種相談(妊産婦・乳幼児・歯科・栄養・成人等)、家庭訪問 ◇教室、学習会の開催～パパママ教室、離乳食教室、出前健康教室、結果説明会 他
地域自殺対策強化事業 (保健センター)	26万円 町13万円 「誰も自殺に追い込まれることのない中標津町」を目指し、悩んでいる人に気づき声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげることのできるゲートキーパーの養成講座をはじめとした人材育成や、各種相談、周知活動を行います。

予防接種等のための経費 (保健センター)	5,398万円 町4,977万円	各種予防接種を行い、感染の恐れがある疾病発生やまん延を予防します。
病院事業会計 (町立病院)	46億899万円	 ◇診療科 14科 ◇病床数 一般173床、人工透析22床 ◇医師数20名(常勤16名、会計年度任用職員4名) 【主な設備・機器整備】 ◇医療機械器具等購入(5,375万円) 十二指腸ビデオスコープ等 ◇施設老朽化改修工事(1,177万円) 非常用発電設備充電器更新工事等 ◇病院経営改善事業(1,688万円) ◇病院施設省エネ推進事業(1,139万円)
看護職員等確保対策経費 (町立病院)	1,623万円 町1,623万円	町立中標津病院における看護職員等の充実を図るため、資金貸付や就職説明会でのPR活動等を行います。
国民健康保険事業特別会計 (住民保険課)	27億8,324万円	 被保険者見込:5,383名(平均) 保険税率改定(応能割0.7%・応益割△2,400円) ◇国保特定健診・保健指導事業 特定健診受診率向上支援等共同事業(国保連合会との連携による受診勧奨)、健診自己負担額の無料化、健康かるてシステム、なかなか健康なかしべつポイント事業 他 ◇健康づくり推進事業 国保人間ドック健診、骨粗しょう症検診、歯科疾患予防 他
後期高齢者医療特別会計 (住民保険課)	2億9,252万円	75歳以上の方と65歳以上で一定の障がいのある方を対象とした医療制度です。(被保険者見込:2,968名)
後期高齢者医療に関連する経費 (住民保険課)	1億6,982万円 町1億6,799万円	療養給付費負担金・健康診査実施、健診・骨粗しょう症検診の自己負担額を無料化、人間ドック受診費用への補助、なかなか健康なかしべつポイント実施

◆「健やかでやさしいまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
特定疾患等患者通院交通費補助金	福祉課	122	特定疾患等により町外の医療機関に通院している方の交通費を補助
地域福祉事業推進補助金	福祉課	10	在宅福祉の向上、ボランティア活動の活性化等に取り組む民間団体を補助
特定不妊治療費助成金	健康推進課	70	特定不妊治療を受けた方への負担軽減として北海道補助に上乗せ補助

基本目標3 ～力みなぎる産業のまちづくり～

新規事業・拡充する事業

森林環境譲与税活用事業 (農林課)	1,598万円 町1,598万円	森林環境譲与税を活用し私有林の整備促進のための各種事業に取り組みます。 ◇森林経営管理事業 ～経営管理されていない私有人工林所有者への意向確認調査を実施します。 ◇中標津町私有林整備事業補助 ◇地域森づくり推進整備事業補助 ～私有林における森林整備の量を増加させるための町単独の補助事業です。 ◇緑化推進事業(植樹祭) ～植樹祭、秋の植樹、サミットの森環境整備を実施します。 ◇北海道林業・木材産業人材育成連絡協議会賛助金 ～北の森づくり専門学院学生を支援します。 ◇森の輪プロジェクト ～子育てへの地元木材活用の推進を図ります。 ※森林環境譲与税とは ～温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等のため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国会で成立した森林経営管理法を踏まえ平成31年4月に創設されました。	
--	---	--	---



地域活性化支援補助 (経済振興課)

600万円
町600万円

新型コロナウイルス感染拡大の収束後を見据え、感染症に強い地域づくりの推進や地域経済構築のために、町民で組織する団体（5名以上）の自主的な活動に対しての支援を行います。



経営持続化応援補助 (経済振興課)

1,000万円
町1,000万円

新型コロナウイルスの感染防止や感染リスク管理の為、空気清浄機やPCR検査の導入などにより、経営持続化に取り組む事業所への対策支援を行います。



主な継続事業

町産食材の消費拡大 のための経費(農林課)

95万円
町95万円



牛乳消費拡大推進委員会への負担金を支出し、イベント会場等での牛乳・乳製品のPR販売や牛乳消費拡大応援条例PRを行うほか、地産地消推進協議会への負担金を支出し、中標津丸ごと給食や地産地消イベントを実施します。

農業高収益化のための経費 (農林課)

17億4,461万円
町0万円

地域の関係者が連携して地域全体の収益力を高める取組について、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援し、地域の畜産の収益性の向上を図ります。(中標津町農協畜産クラスター協議会、けねべつ地域畜産クラスター協議会/搾乳ロボット等整備 他)

新規就農者対策事業 (農林課)

1,523万円
町825万円



◇新規就農者育成支援事業(1,476万円)
～新規就農者に対し担い手育成として費用の一部負担等の支援を行います。
・農地保有合理化事業利子補給金:新規就農者の農場リース資金利子補給
・農業次世代人材投資事業補助金:就農後(5年)の所得確保のための給付金
・新規就農者対策事業補助金:新規就農者への補助金
(1件あたり400万円以内)

◇新規就業・就農PR事業(47万円)
～全国規模の総合就農相談イベント「新・農業人フェア」に参加し、就業・就農に向けたPR活動や移住相談を実施します。

農業基盤整備のため の負担金(農林課)

9,901万円
町3,706万円



◇草地整備
・計根別北部地区～総事業費:1億3,400万円 草地整備223.4ha
・中標津中部地区～総事業費:8,165万円 草地整備132ha、草地造成0.2ha

◇農地整備
・南1号第2地区～今年度は別海町域のみの工事となります。

◇農道整備
・協和30線地区～総事業費:6,500万円 舗装500m、大型視線誘導標14基

町営牧場特別会計 (農林課)

6,973万円



◇放牧対象: 生後6ヶ月以上の乳用牛(延入牧頭数12万4,309頭)
◇放牧期間: 5月20日～10月22日予定(156日間)
◇開陽台牧場の草地の生産機能の低下に伴い、草地の基盤整備を実施しています。
・総事業費:5,900万円 草地整備60.6ha(町負担額1,475万円)

バイオガス導入促進の ための経費(農林課)

15万円
町15万円

家畜ふん尿臭気対策はもとより、循環型農業の推進となる良質な液肥や再生可能エネルギーの生産を視野に入れ、酪農関係者への理解促進を図ります。

森林管理・保護の ための経費 (農林課)	5,304万円 町1,831万円	森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林資源の育成・保全に努め、中標津町森林整備計画に基づいた森林整備を進めます。 また、各種補助制度による支援を行い、私有林の整備を推進します。 
木材利用推進事業 (農林課)	22万円 町22万円	地域の優良カラマツ材の公共建築物等への積極的な利用検討を行い、伐期を迎えた大口径カラマツを“地域材”として有効活用の促進を図ります。
町有林間伐促進型CO2 排出削減対策事業 (農林課)	0万円 町0万円	J-クレジット制度（カーボンオフセット）に係る販売促進のため、PR活動や企業との個別交渉に取り組みます。
林業行政の強化にかかる経費 (農林課)	463万円 町463万円	林業行政においては、業務の多様化及び高度な専門性を要することから「地域林政アドバイザー制度」を活用し、専門的知見を有する中標津町森林組合から総合的な支援を得て、林業行政の実施体制の強化を図ります。 ◇業務内容：造林地測量、間伐標準調査、収穫量調査、森林経営計画策定、森林経営管理制度事務、森林整備工事設計 他
中小企業振興基本条例 推進事業 (経済振興課)	16万円 町16万円	中小企業の振興や地域経済の活性化等を目的とする中小企業振興基本条例に基づき、具体的な施策などを検討します。
商工業に対する支援 (経済振興課)	800万円 町800万円	 ◇中小企業融資保証料補助（380万円） ～町の融資制度を活用した借入れに伴う北海道信用保証協会への保証料補助。（2分の1補助 ※初めて制度利用する場合は初年度全額補助） ◇中小企業応援事業補助（120万円） ～既存企業の店舗や設備等を改修する費用の一部を補助。 ◇空き地空き店舗等活用事業（150万円） ～都市計画の用途地域内で、空き地や空き店舗等を活用し創業する起業家へ開業関連経費の一部を補助。 ◇商工会青年部・女性部対策事業補助（24万円） ～商工業の若手後継者育成・資質向上活動に対する補助。 ◇商工業振興推進補助（126万円） ～商工会が実施する商工業振興推進事業に対する補助。 （地域商店街活性化対策、雇用向上育成対策 など）
ふるさと応援制度 推進事業 (企画課)	1億3,443万円 町1億3,443万円	ふるさと納税制度を通じた地域資源の活用や新規寄附者の拡大、寄附者とのつながりを持続する取組を推進します。
観光振興のための経費 (経済振興課)	1,359万円 町1,339万円	 ◇観光諸行事のための経費（1,020万円） ～夏祭り・冬まつり、標津岳・武佐岳山開きなど観光諸行事開催のための経費です。 ◇広域連携観光PR事業（299万円） ～自治体・観光協会・商工会などの団体で構成し、広域観光に取り組む団体への負担金です。（知床ねむろ観光連盟負担金、阿寒摩周国立公園広域観光協議会負担金、ひがし北海道自然美への道DMO負担金 他） ◇根室管内教育旅行誘致推進協議会負担金（40万円） ～根室地域への教育旅行誘致推進のため、1市4町で組織された根室管内教育旅行誘致推進協議会への負担金です。
空港利用促進対策事業 (空港対策室)	1,796万円 町1,246万円	路線の維持・拡大に向けた取組のほか、中標津空港の更なる利用促進に取り組みます。（要請活動・利用促進・空港線バス負担金 他） 
通年雇用促進事業 (経済振興課)	15万円 町15万円	根室管内4町の連携で、季節労働者の雇用確保・就職促進に向けた取り組みを行う根室管内4町通年雇用促進協議会への負担金です。

地域雇用活性化推進事業 (経済振興課)	361万円 町18万円	根室管内4町の連携で、地域の創意工夫のもと各種セミナーの開催など事業所の魅力向上、人材育成・求職者と企業を結び付ける事業を実施し、地域の雇用対策・地域活性化に向けた取り組みを行う南知床4町地域雇用創造協議会への負担金です。(令和元年～3年度厚生労働省受託事業)
-------------------------------	-----------------------	--

◆「力みなぎる産業のまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋) (単位:万円)

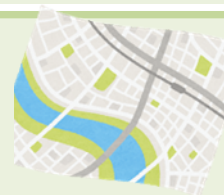
名称	担当課	予算額	内容
豊かな森づくり推進事業補助	農林課	949	公共造林事業により実施した私有林の植林に対する所有者負担軽減のための補助
地域森づくり推進整備事業補助	農林課	1,160	公共造林事業により実施した私有林整備に対する所有者負担軽減のための補助
中標津町私有林整備事業補助	農林課	246	公共造林事業の要件を一部緩和させた、私有林における間伐・枝打ち事業に対する補助

基本目標4 ～利便性のある調和のとれたまちづくり～

新規事業・拡充する事業

新	東中流末排水整備事業 (建設管理課)	1,370万円 町1,370万円	東中地区の雨水排水について、雨水を確実に標津川へ導くため未整備となっていた排水整備を行います。 ◇測量設計、用地測量、土地購入、物件補償(北川沿通～標津川樋門)
----------	------------------------------	----------------------------	---

新	全庁型GIS導入事業 (総務課)	2,965万円 町2,965万円	各部署において構築している地図データなどを全庁型GISとして統合し、情報の共有、横断的な利用促進を図ります。
----------	----------------------------	----------------------------	--



主な継続事業

都市総合計画推進業務 (都市住宅課)	487万円 町487万円	都市計画用途地域変更、第2期都市計画マスタープラン推進(まちのツボ活性化×地域別構想) 他
空家対策のための経費 (都市住宅課)	0万円 町0万円	まちなみ景観形成推進事業(北海道)を活用した空き家セミナー開催に向けた取り組みを行います。
景観形成推進のための経費 (都市住宅課)	32万円 町32万円	景観形成推進事業補助(良好な景観形成を図るために、町が認定した景観形成団体の活動に対し補助)

道路整備事業(改良・舗装) (建設管理課)	3億1,240万円 町2億6,440万円	(市街地)
---------------------------------	--------------------------------	-------



市街地道路簡易舗装事業 簡易舗装1路線193.6m、測量設計1路線310m



(郊外地)

依橋南3号道路整備事業 路盤140m、舗装100m(依橋17線付近～16線付近間)
 豊岡35線道路整備事業 路盤・舗装70m(0号付近～北1号付近間)
 武佐南7線道路整備事業 改良・舗装330m、土地購入 他(道道開陽川北線～武佐南9号)
 俣落30線道路整備事業 路盤157m、舗装137m、土地購入 他(29線付近～30線付近間)
 西竹38線連絡道路整備事業 路盤140m、舗装130m 他(北21号付近～北22号付近間)
 開陽26線道路整備事業 路盤160m、舗装190m 他(りんどう町北8号～北9号付近間)
 西竹48線道路整備事業 路盤110m、舗装110m、土地購入 他(道道上武佐計根別停車場線～北15号付近間)

橋梁の点検・修繕にかかる経費 (建設管理課)	7,175万円 町2,888万円	町が管理する老朽化した橋の予防的な修繕や計画的な架替えにより長寿命化を図るほか、中標津建設業協会との協働で講習会を開催し、通常点検や災害時の緊急点検に備えた技術力向上を図ります。(橋梁補修:東橋、実施設計:広栄橋・荒川2号橋)
-------------------------------	----------------------------	---

除雪・防雪にかかる経費 (建設管理課)	3億6,843万円 町2億8,014万円	◇除雪経費、除雪体制強化経費(車両位置装置・防雪柵設置等) ◇除雪機械購入(除雪トラック2台購入、機械格納庫B棟、工事監理) ◇上標津北14号道路防雪柵 柵設置80.5m(54線付近～55線付近間) ◇武佐北11号道路防雪柵 柵設置80.5m(18線～開陽19線道路間)
生活等バス運行のための経費 (生活課)	8,765万円 町3,482万円	地域住民の生活の足を確保するため、町有バス3路線(俣落線・武佐線・養老牛線)の運行と共に、民間バス事業者への補助を行います。
公営住宅整備事業 (都市住宅課)	2億1,400万円 町1億1,770万円	まちなか居住の推進と良好な住環境の形成を図るため、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化している町営住宅の建替え工事を進めています。 昨年度に引き続き、東中団地の整備を行います。 ◇東中団地建築工事・監理委託(2棟8戸)
宅地耐震化推進事業 (都市住宅課)	1,900万円 町950万円	これまで全国各地で発生した大規模地震では、谷や沢を埋めた大規模盛土造成地で滑動崩落による被害が多発したことから、国のガイドラインに沿って抽出された箇所の詳細調査計画により、大規模盛土造成地変動予測調査(第2次スクリーニング)を実施します。
公園整備事業 (建設管理課)	4,372万円 町2,222万円	利用者の安全性確保・向上のため、公園の遊具等を計画的に整備します。 (森林公園・丸山公園遊具更新工事、正美公園遊具撤去工事 他)

◆「利便性のある調和のとれたまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
地域まちづくり事業補助金	都市住宅課	33	都市計画マスタープランの地域別構想実現に向け地域住民が取り組む活動へ補助

基本目標5 ～安全・安心で快適なまちづくり～

新規事業・拡充する事業

防災対策・危機管理対策 にかかる経費 (総務課)	1,672万円 町1,146万円	 町民の防災力向上と防災意識の啓発を図るため、町・関係機関・町民等が一体となった防災体制の確立に努めます。また、平成27年4月に作成・配布した、災害への備えや災害発生時の対処方法などをまとめた「中標津町防災ハンドブック」の見直し作成を行います。 ◇防災備蓄品・防災資機材整備、防災の日啓発、防災ハンドブック作成 他
--	---	--

環境保全推進事業 (生活課)	110万円 町110万円	排水や家畜ふん尿などによる河川水質への影響を調査するほか、摩周湖の環境保全のためモニタリング調査を行います。また、環境基本条例に基づく環境基本計画の見直し策定や地球温暖化対策推進法に基づく実行計画の策定作業を進めます。
---	---------------------------------------	--

主な継続事業

安全で住みよいまちづくりのための経費 (生活課)	2,574万円 町2,574万円	 ◇防犯対策 ～悪質・巧妙化する犯罪の未然防止に努めます。(防犯灯維持、啓発等) ◇交通安全対策 ～指導員配置など啓発に取り組めます。(交通安全灯維持、啓発等) ◇安全で住みよいまちづくり推進協議会運営経費 ～町民が安心して暮らせる地域社会の実現に取り組めます。(町内会・学校・警察・暴力追放運動推進協議会等と連携、啓発等)
--	---	---

消費者対策のための経費 (生活課)	573万円 町313万円	消費生活相談員の資質向上と相談体制の充実・強化を図り、消費者被害の未然防止に努めます(相談業務、啓発等)。また、弁護士による無料法律相談を年3回開催します。
有害鳥獣対策のための経費 (農林課)	576万円 町525万円	エゾシカ駆除報償金(800頭分)、駆除処理・運搬費用負担、熊・カラス駆除経費、猟友会中標津部会補助金
ごみ処理・対策にかかる経費 (生活課)	6億5832万円 町5億4,868万円	 ◇根室北部廃棄物処理広域連合負担金(4億3,425万円) ～根室管内4町で構成している広域連合への負担金です。 ◇一般廃棄物処理経費(2億1,754万円) ～一般廃棄物の収集・処理委託費及び最終処分場の維持管理経費、指定ごみ袋作成経費、広域連合焼却施設への可燃ごみの運搬経費です。 ◇ごみ減量・リサイクル促進のための経費(653万円) ～ごみ分別収集の実施や分別排出の啓発、生ごみ減量化促進に取り組めます。
水道事業会計 (上下水道課)	9億5,341万円	 ◇浄水施設更新事業(2億1,500万円) ～水道施設監視用テレメーター外電気計装設備更新工事、浄水場導水管排泥池連絡道路新設工事 他 ※水道料金改定について ～営農用区分の超過料金70円(1m³増毎)について、令和2年7月より105円(+35円)に、令和3年4月より140円(+35円)に段階的に改定。
下水道事業特別会計 (上下水道課)	11億6,054万円	◇下水道整備面積886.5ha、日最大処理能力11,425m³ ◇下水道管路施設修繕工事(280万円) ～不明水対策(東中地区、人孔・汚水樹) ◇公共下水道事業(4億1,260万円) ～下水終末処理場設備更新工事、中部地区下水道管新設工事(東9条北2丁目)、公共汚水樹新設工事16箇所(中標津) 他 ◇地方公営企業法適用化事業(2,156万円) ～資産情報の整理、条例等の洗い出し、関係部局との調整事項の把握 他
簡易水道事業特別会計 (上下水道課)	6億4,461万円	簡易水道区域(主に郊外地域)へ給水。給水戸数1,081戸 ◇浄水施設更新事業(8,600万円) ～中標津町水道施設中央監視設備外更新実施設計 他 ◇配水施設整備事業(6,612万円) ～西竹第2-1支線配水管改修工事396m 他 ◇道営畑地帯総合整備事業負担金(西竹地区)(1億9,639万円) ～道事業費:6億6,612万円 西竹浄水場設備更新、導水管路・配水管路改修1,300m、給水管接続 他 ◇地方公営企業法適用化事業(2,156万円) ～資産情報の整理、条例等の洗い出し、関係部局との調整事項の把握 他 ※水道料金改定について ～営農用区分の超過料金70円(1m³増毎)について、令和2年7月より105円(+35円)に、令和3年4月より140円(+35円)に段階的に改定。

◆「安心・安全で快適なまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
既存住宅耐震改修費補助金	総務課	89	住宅の耐震改修・補強設計・耐震診断費用の補助(昭和56年5月31日以前着工住宅)

基本目標6 ～人が輝き歴史と文化を育むまちづくり～

新規事業・拡充する事業



文化財保存活用地域計画 作成事業(生涯学習課)

591万円
町31万円

町内に所在する指定・未指定文化財を総合的に調査・把握し、保存・活用の促進を目的とした文化財保存活用地域計画を策定します。

主な継続事業

児童生徒の教育環境整備のための 経費(教委管理課・学校教育課・生涯学習課)

3億3,136万円
町3億968万円

◇教育力向上推進事業(235万円)

- ・学力向上推進事業
～小中学校の児童生徒の学力向上に向け、全小中学校標準学力調査(CRT)を行い、児童生徒の学力を把握し、学習指導・授業改善に役立てます。
- ・小中一貫校推進事業
～町内全校で導入している小中一貫教育を推進するため具体的な課題検証を行うとともに実践研究をします。
- ・コミュニティ・スクール運営
～全小中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を運営し、学校と保護者、地域住民等が一体となって学校運営改善や児童生徒の健全育成に取り組む環境を整えます。
- ・学校教育研究実践校活動報償



◇特別支援教育支援員配置経費(2,993万円)

～要支援児童・生徒の学習や学校生活の介助・安全確保のため支援員を配置します。

◇語学指導等外国青年招致事業(1,263万円)

～学習指導要領改訂により、小学校英語学習の教科化や授業時間が拡大しているため、英語指導助手(AET)2名体制で児童生徒の英語力向上を図ります。

◇児童生徒の安全安心サポート事業(103万円)

～児童生徒が抱える諸問題に対応するためスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置します。また、学校・通学路の安全確保のため、スクールガードリーダーの学校巡回指導を行います。

◇地域学校協働本部事業(33万円)

～地域全体の学校活動支援として、学校サポーターの派遣や地域コーディネータの配置を行います。

◇広陵中学校長寿命化改良事業(2億8,509万円)

～老朽化の著しい広陵中学校校舎の全面改修を行い安全安心な施設にするとともに、近年の多様な学習内容・形態に対応した教育環境の質の向上を図ります。今年度はグラウンド改修工事・仮設校舎実施設計・用具庫兼部室増築工事を行います。

町立学校記念行事開催 事業(教委管理課)

20万円
町20万円

丸山小学校開校40周年記念式典、中標津農業高等学校70周年・体育館落成記念式典の開催経費です。

義務教育扶助費(小・中学校) (学校教育課)

3,412万円
町3,178万円

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し扶助を行います。
◇学用品費、修学旅行費、体育実技用具費、医療費、新入学児童生徒学用品費 他

育英資金貸付事業 (教委管理課)

335万円
町66万円

義務教育の課程を修め、学術優秀で向学意欲ある町民が義務教育以上の教育を受ける場合に学資の貸付を行います。また、入学一時金の貸付制度も行います。さらに、時代の多様なニーズへの対応として、給付型の導入などについて調査研究を進めます。

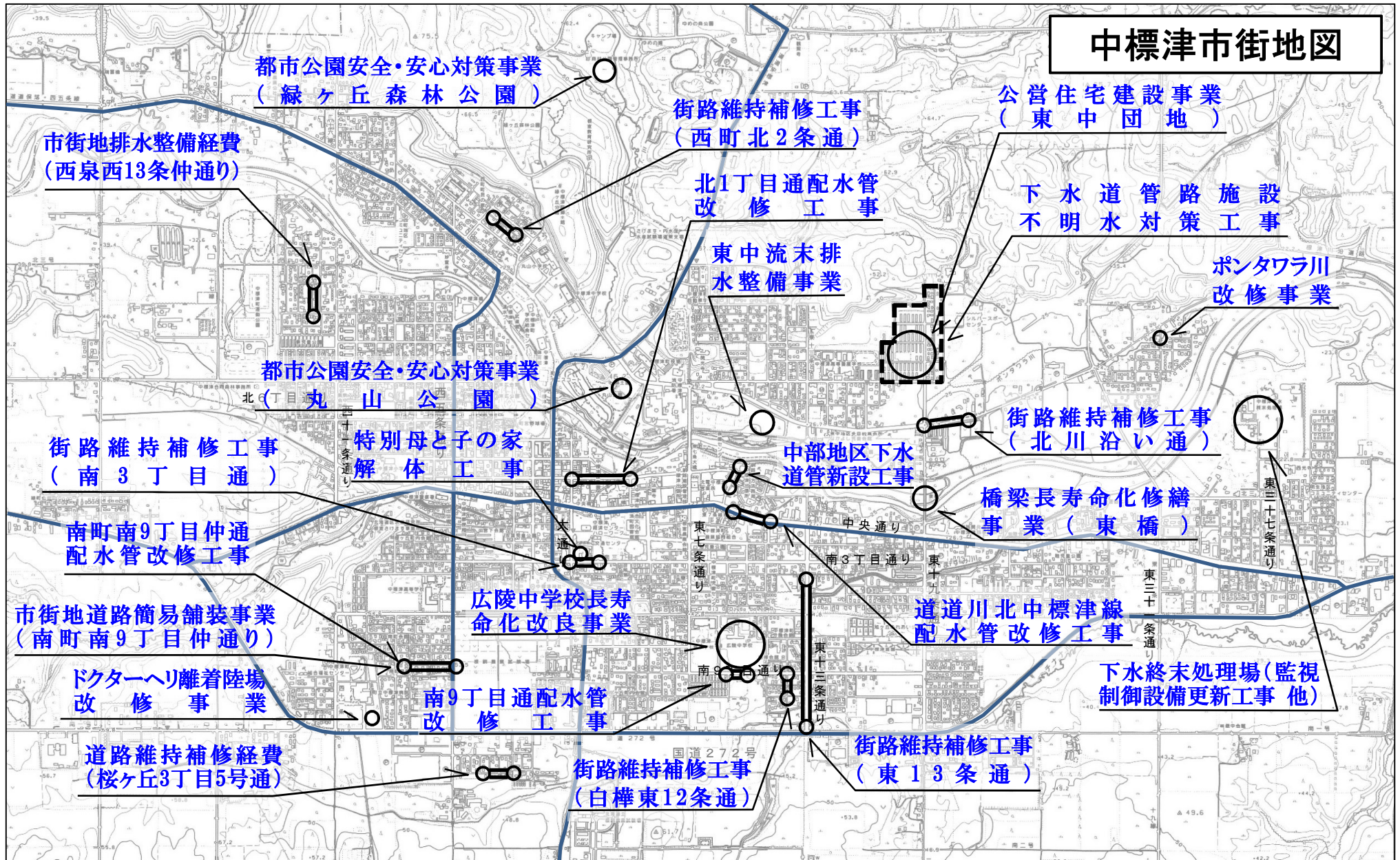
スクールバス等運行のための経費 (学校教育課)	1億2,027万円 町1億2,027万円	小中学校の統廃合に伴う児童・生徒の通学のため、スクールバスなどを運行します。(スクールバス・ハイヤー13路線、教育振興車両運行)
農業高校生徒の修学支援のための経費 (農業高校)	2,321万円 町2,209万円	≪町立中標津農業高校修学支援による人材育成プロジェクト≫ ◇就学環境支援対策事業(1,957万円) ～農業の担い手として生徒を確保するため、生徒や保護者に各種支援を行います。 ・通学費全額補助(片道6km以上の路線バス及び自家用車送迎通学生徒であり、通学日数に応じた運賃相当額を上限) ・実習服購入費全額助成 ・資格検定料全額助成 ・給食提供 ◇海外研修事業(251万円) ～農業後継者育成や食品産業教育の一環として、すべての生徒が海外の自然・生活環境や農業実務の基礎知識を理解することを目的に実施します。 ◇農業高校クラブ遠征支援経費(113万円) ～農業クラブのイベント参加・研究発表大会の遠征費のほか、部活動の遠征費の一部を補助します。
生涯学習推進のための経費 (生涯学習課)	648万円 町648万円	生涯学習だよりの発行や生涯学習研修講座、成人式開催等のための経費です。(成人式：令和2・3年度分 2回開催)
スポーツ合宿誘致推進事業 (生涯学習課)	227万円 町70万円	◇日本体育大学連携協定推進事業(223万円) ～「ラグビー部」「駅伝部」合宿受入、「整列と行進」指導 ◇スポーツ推進・振興事業(4万円) ～町外スポーツ団体への合宿支援品支給
埋蔵文化財分布確認調査事業 (生涯学習課)	66万円 町66万円	平成29年度から発掘中の標津川9遺跡(西8条北5丁目)について、今年度も将来の土地利用のための試掘調査を行い、埋蔵文化財の分布範囲などを調査します。(札幌学院大学との連携協定事業)
体育施設運営・改修経費 (生涯学習課)	1億9,255万円 町1億9,086万円	総合体育館・運動公園・武道館・プール・テニスコート・野球場の運営管理について、指定管理者制度により(一財)中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。(温水プール設備改修、町営球場スコアボード改修)
社会教育施設運営・改修経費 (生涯学習課)	3億105万円 町2億6,085万円	総合文化会館・図書館・交流センターの運営管理について、指定管理者制度により(一財)中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。(総合文化会館大ホール音響設備改修・蓄電池更新)

◆「人が輝き歴史と文化を育むまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

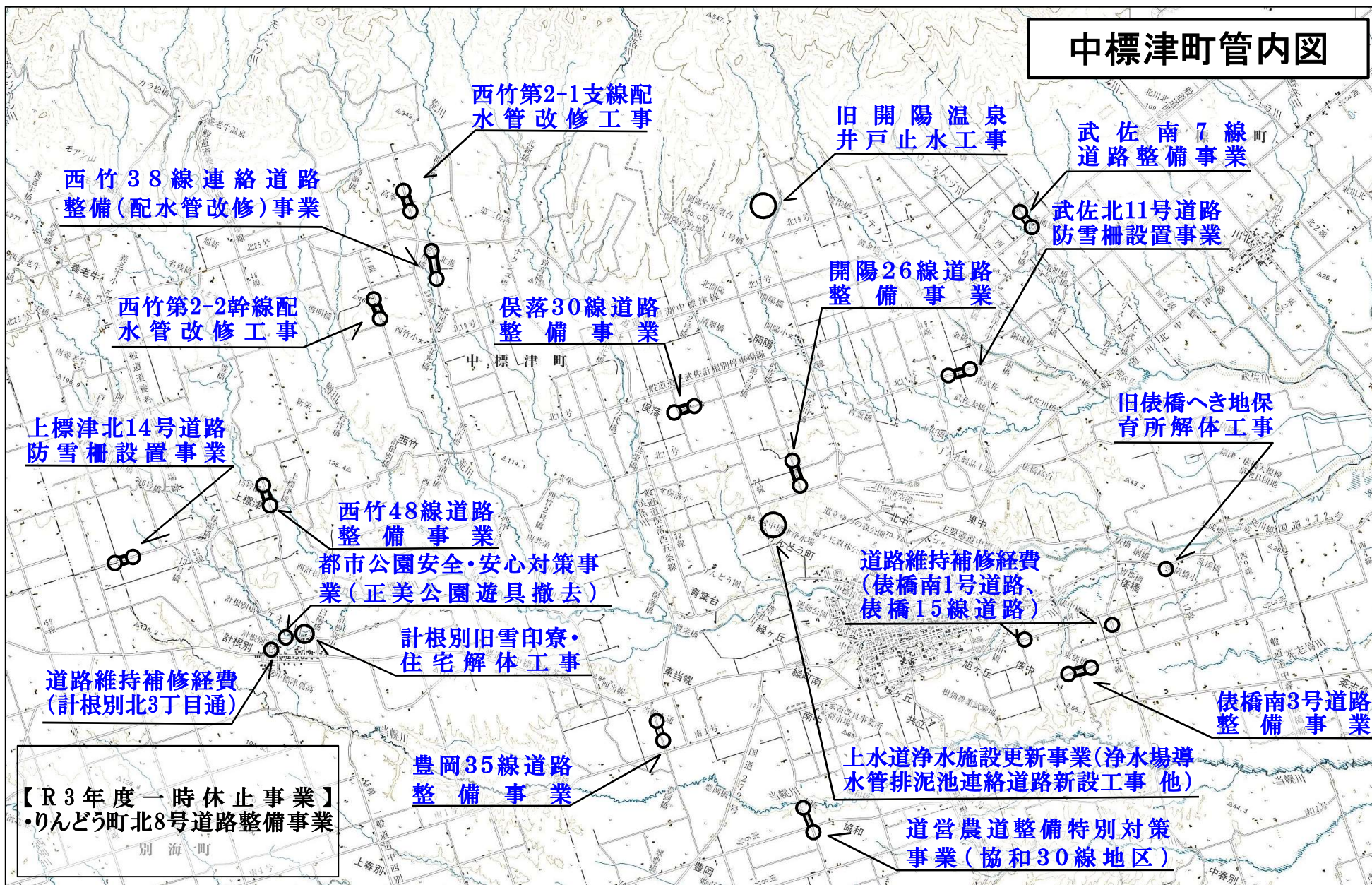
(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
スポーツ文化遠征費補助金	生涯学習課	500	児童生徒のスポーツ及び文化活動で遠征する団体や個人の遠征費を一部補助

中標津市街地図



※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。



※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

《 発 行 》 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

《中標津町ホームページ》

URL <http://www.nakashibetsu.jp/>

メール nakasi-t@aurens.or.jp

携帯サイト <http://j.nakashibetsu.jp/>

空とみどりの交流拠点

中標津

～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～